

日立ガステーブル保証書 出張修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼の
うえ本書をご提示ください。

形 名	GHS-28W		※お買い上げ日	保 証 期 間
			昭和 年 月 日	本体：1 年
※お 客 様	ご住所 ご芳名	〒 様		
※販 売 店	住 所 店 名	電話 ()		

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ)お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常ガス圧、指定外ガスでの使用による故障または損傷。
 - (ニ)本書のご提示がない場合。
 - (ホ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (ヘ)ご転居等による熱量変更に伴う改造や調整。
- 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼にできない場合には別紙の日立家電品ご相談窓口一覧表をご覧のうえ、お近くの窓口にご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙の日立家電品ご相談窓口一覧表の窓口にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

●修理メモ

日立家電販売株式会社

〒105 東京都港区西新橋2-15-12 TEL (03) 502-2111

取扱説明書

保証書付
裏表紙が保証書になっています

HITACHI

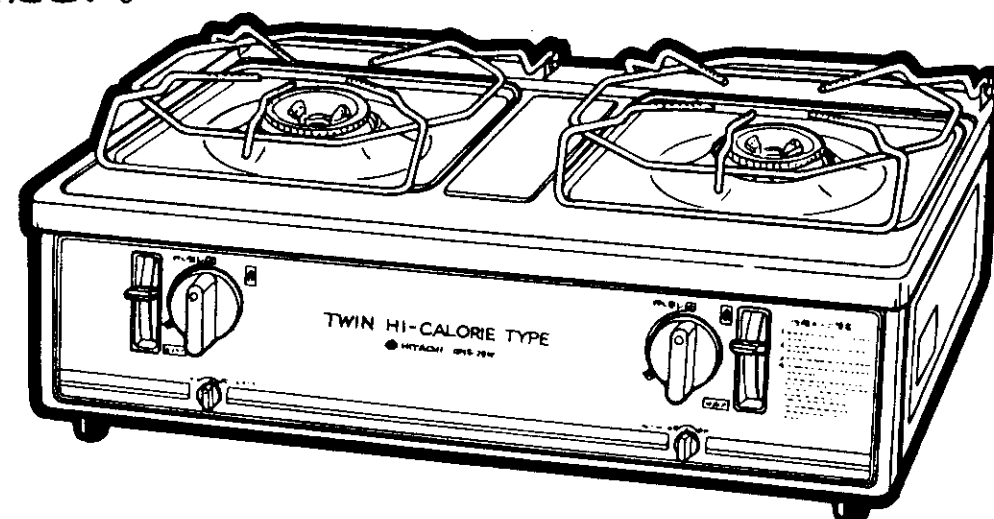
正しく使って上手に節約

日立ガステーブル

〈ガス二口こんろ〉

GHS-28W

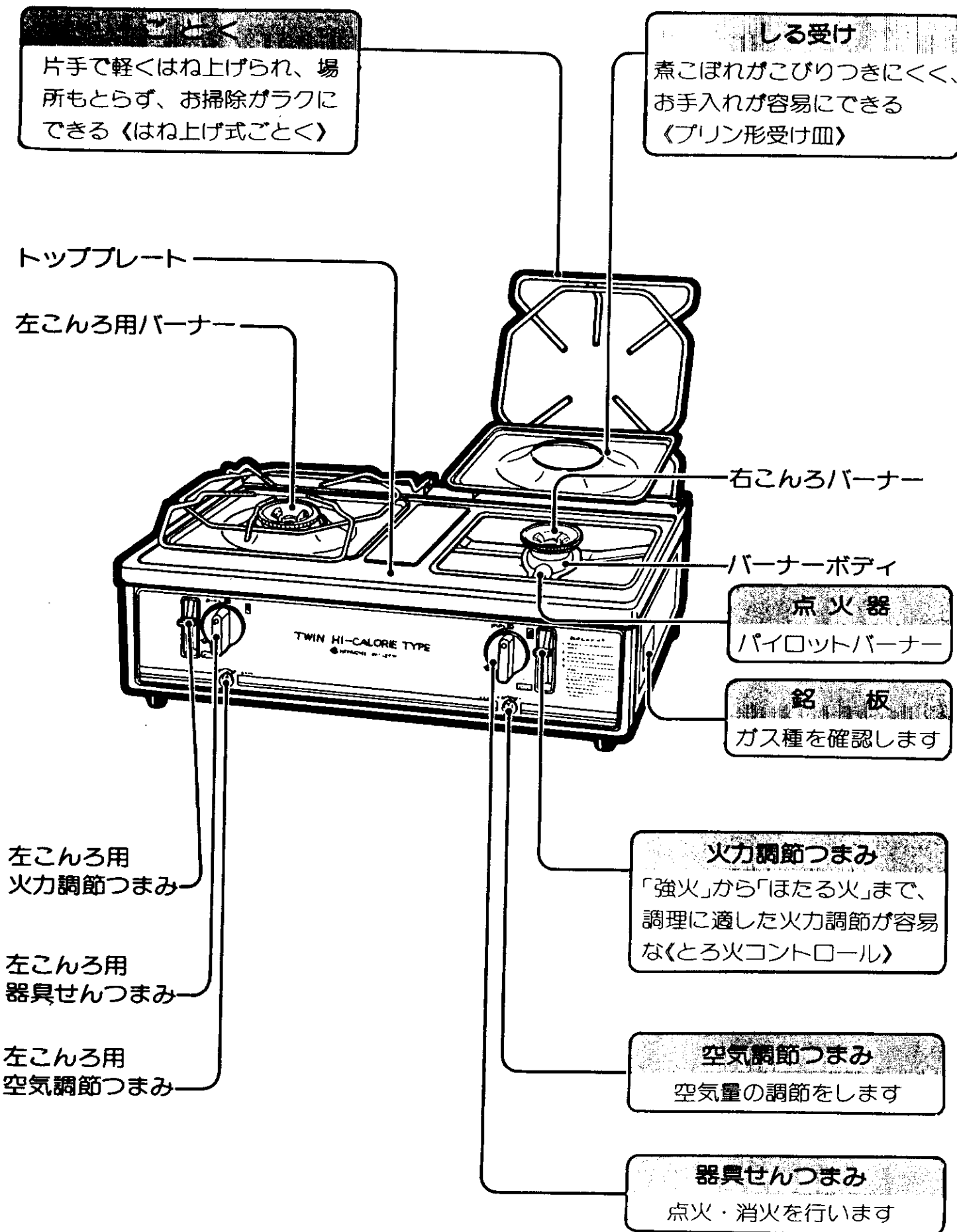
このたびは、日立ガステーブルをお求めいただき、
まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は、「ご相談窓口一覧表」とともに
大切に保存してください。



目次

	ページ		ページ
■各部の名称	1	■故障・異常の見分け方と 処置方法	11
■特に注意していただきたいこと	2~4	■長期間使用しない場合	12
■器具の設置	5~6	■仕 様	12
■使用方法	7~8	■アフターサービス	13
■器具の上手な使い方	8		
■日常の点検・手入れ	9~10		

各部の名称(名称と特長)



特に注意していただきたいこと

使用ガスについて

器体(銘板)に表示してあるガス(ガスグループ)以外のガスでは使用しないでください。
(銘板は器具の右側面に貼ってあります)

●都市ガスには14種類あります。(12ページ参照)

(銘板の例)

GHS-28W
LPガス用
0.502kg/h

日立熱器株式会社

LPガス用

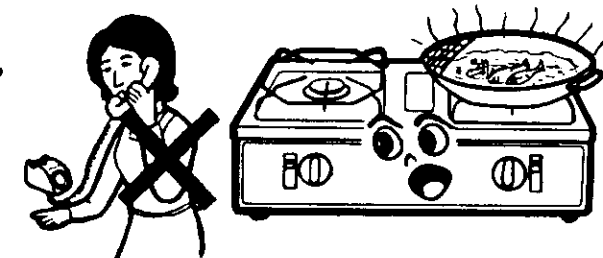
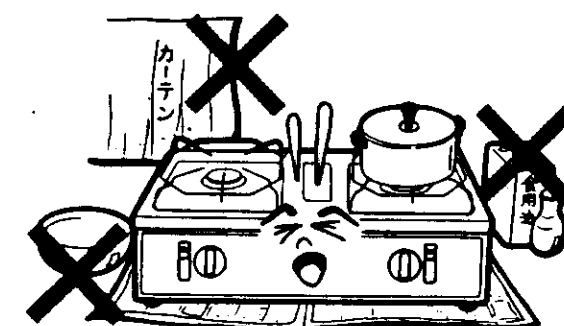
GHS-28W
都市ガス用
7C 5,670kcal/h
6B 5,500kcal/h

日立熱器株式会社

都市ガス用(7C-6B)

火災予防

- ①器具の上や周囲には、燃えやすいものを置かないでください。
- ②火をつけたまま、お出かけ、おやすみは、絶対にしないでください。
- ③火をつけたまま器具の使用場所をはなれないでください。
特に天ぷら揚げをしているときは危険です。

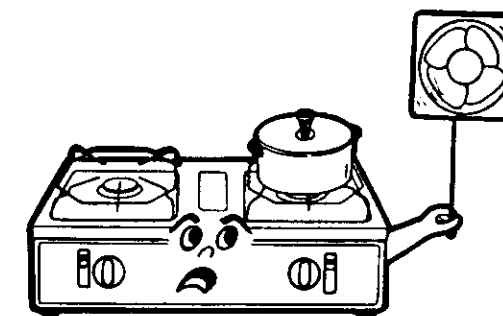


換気のご注意

ご使用と同時に換気扇を回すなど、換気には十分注意してください。

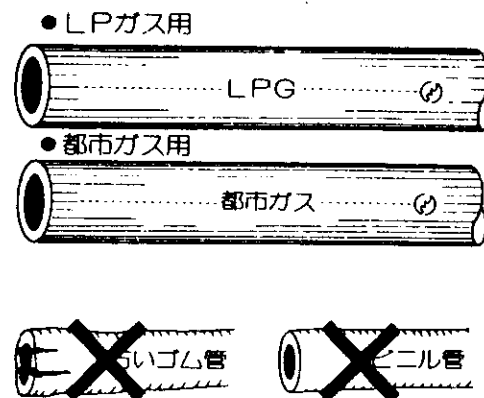
閉め切った部屋で長時間使用すると、空気中の酸素が減少し、不完全燃焼により一酸化炭素中毒の危険があります。

- 石油ストーブ等、他の燃焼器具を同時に使用しますと、特に酸素不足になりやすく炎がふらつくなどしますので、必ず換気してください。



ガス事故防止

- ① ゴム管は、新しいガス用ゴム管を使用し、ビニル管は絶対に使用しないでください。
ビニル管は熱に弱く、弾力性也没有ありません。
- ガス用ゴム管には、LPガス用と都市ガス用がありますので、使用ガスに合ったものをお使いください。
- 古いゴム管は、ひび割れしたり、差し込み口がゆるんだりしやすく、ガス漏れするおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- ゴム管は、少なくとも1ヶ月に1回は点検し、ひび割れしたり、弾力がなくなったりしている場合は、新しいものと交換してください。



- ② 迅速継手を用いて接続する場合は、検査合格マークの入っているものを使用してください。

- ③ 使用時の点火・消火のほか、使用中にもときどき正常に燃焼していることを確かめてください。

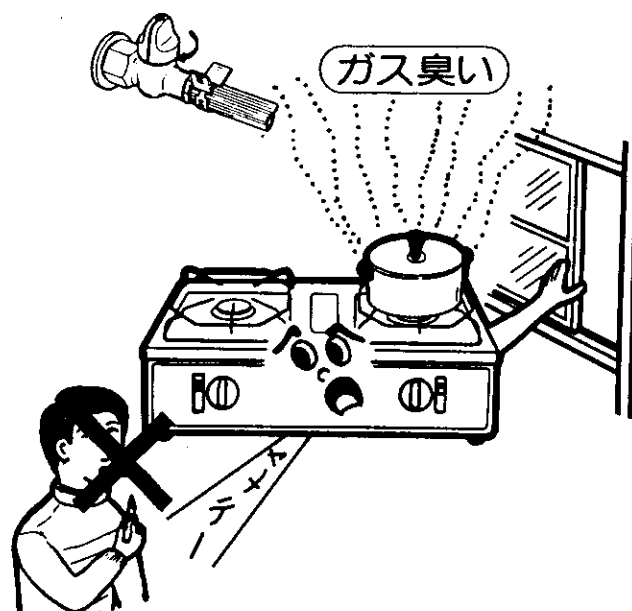
- ④ 使用後は、必ず消火したことをお確かめください。

また、お出かけや、おやすみの際には、必ずガス元せんも閉じてください。

- ⑤ ガス漏れに気付いたときは、すぐに使用をやめてガス元せんを閉じ、窓や戸を全部あけてガスを外へ出してから、漏れの原因を調べてください。

おわかりにならないときは、お買い求めの販売店かガス供給業者に連絡してください。

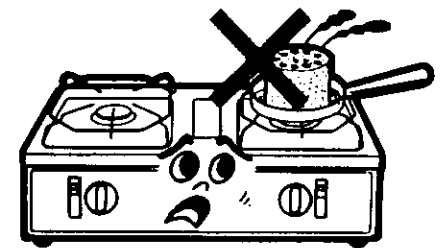
- ⑥ 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具のスイッチの入・切はしないでください。火や火花でガスに引火し、爆発事故を起こすことがあります。



使用上の注意

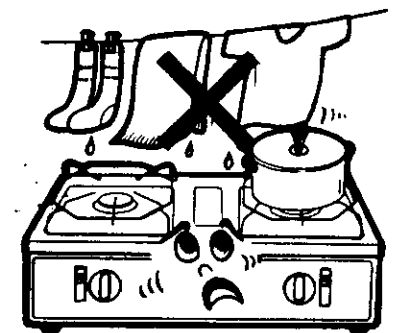
- ① 調理以外の用途(炭・練炭おこし等)には使用しないでください。

過熱や異常燃焼による焼損・火災などの危険があります。



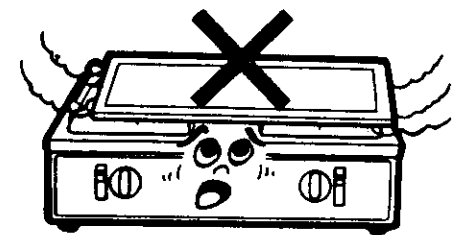
- ② 衣類の乾燥などに使用しないでください。

衣類が落下して火がつき、火災になることがあります。



- ③ こんろを覆ってしまうような不良補助具や、大きな鉄板・陶板類、市販のガス節約器などは使用しないでください。

不完全燃焼による中毒・過熱や異常燃焼による器具の焼損・火災等の危険があります。



- ④ 上のせてんびは使用しないでください。

異常過熱や故障の原因となります。

- ⑤ 使用中や使用直後は、器具の各部分が高温になっておりますので、とって以外の部分には手など触れないでください。

- ⑥ 万一異常燃焼を起こしたときや緊急の場合は、あわてずに器具せんとガス元せんを閉じて、消火してください。

- ⑦ 煮こぼれは、バーナー部や器具を早くいためますので、十分注意してください。
- 万一、バーナーに煮こぼれがかかったときは、その都度バーナーキャップを外して、ブラシやキリなどで掃除してください。
- 煮こぼれで目詰りしたバーナーをそのまま使用しますと、不完全燃焼や、生ガスが出たり、炎が逆流して器具を焼損するおそれがあります。

- ⑧ 市販のアルミ箔のマット(ガスマット)は、使用しないでください。
- 燃焼が悪くなることがあります。

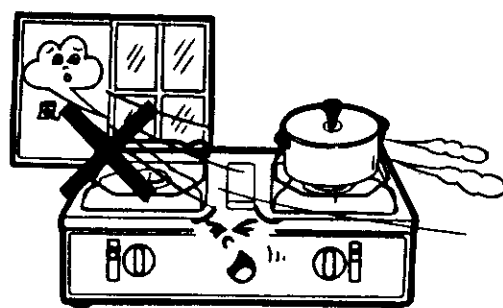
設置前の準備

1 包装材を取り除きます

- ①各部分の包装部材を取り除いてください。
- ②トッププレートは四隅を上からしっかりと押さえ、本体に正しくセットされていることを確かめてください。

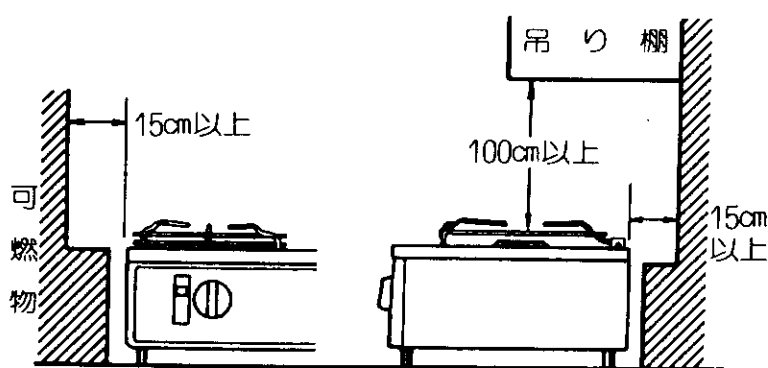
2 設置場所についてのご注意

- ①次のような場所には設置しないでください。
 - 風の吹き込むところ。
 - 棚の下などで落下物の危険のあるところ。
 - カーテンや燃えやすいものの近く。
- ②家具、壁その他の可燃物から十分離れている場所に設置してください。
- ③換気(給気・排気)が十分できるところに設置するか、換気できるようにしてご使用ください。



3 周囲の防火措置について

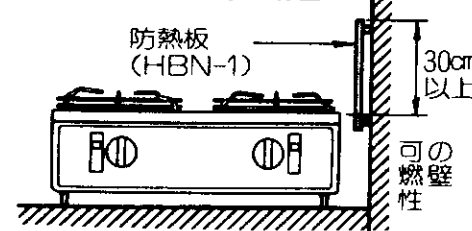
器具は可燃物(壁面など)から15cm以上離して設置してください。ピッタリ付けて設置しますと、壁面などの温度が上がり、危険です。また、上部に吊り棚などがある場合は、器具上面と吊り棚との間に100cm以上の空間を設けてください。



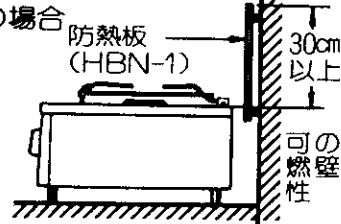
●防熱板による防火措置

壁面などとの間隔を15cm以上離せない場合は、防熱板(別売品)を下図の要領で取付けてください。なお、可燃性材料と防熱板との間には1cm以上の空間を設けてください。

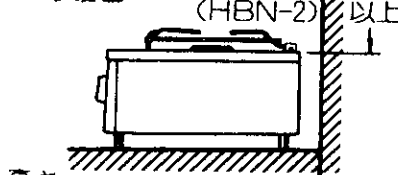
●側面が15cm以内の場合



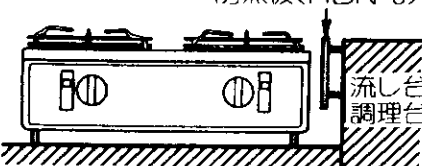
●後壁面が15cm以内の場合



●吊り棚などの下面とが100cm以内の場合

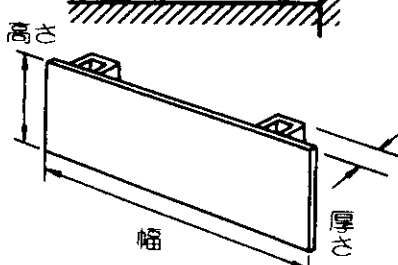


●器具の高さが流し台、調理台よりも低く、側面が15cm以内の場合



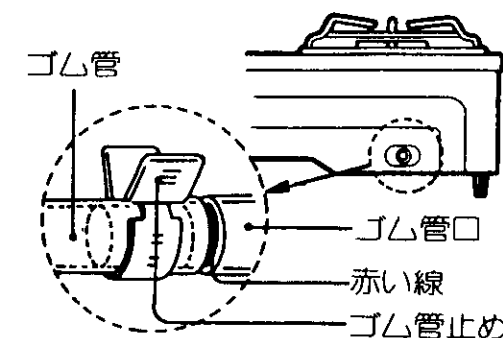
■防熱板の種類(ステンレス製)

	HBN-1	HBN-2	HBN-3
厚さ	1.5cm	1.5cm	1.5cm
高さ	40cm	40cm	10cm
幅	59cm	90cm	53.5cm

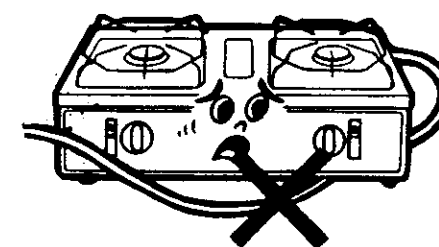


設置の方法 (管の接続)

- ①ゴム管を、ゴム管口やゴム管内にごみなどが付着していないことを確かめてからゴム管口の赤い線まで差し込み、ゴム管止めで確実にとめてください。



- ②ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたり、ねじれたりしないよう、できるだけ短かく(2m以下で適当にゆとりをもたせる)、また器具の下を通したり、器具に触れないようにしてください。

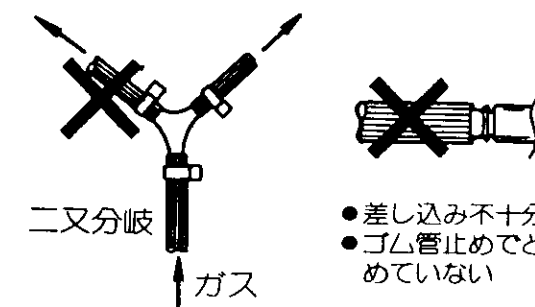


- ゴム管が折れ曲ってつぶれないよう注意してください。

- ゴム管止めは、別売品かガス会社、LPガス業者の指定品を使用してください。

- ゴム管について詳しくは3ページをお読みください。

- ゴム管の継ぎだしや、二又分岐は、絶対にしないでください。



- 差し込み不十分
- ゴム管止めでとめていない

- ③迅速継手を使用する場合、ガス元さんのゴム管口により接続具が異なります。接続は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。

点火前の準備と確認

- 器具周辺に、紙、プラスチック、油類など、燃えやすいものが置いてないか、確認してください。
- 器具せんつまみが2つとも「止」位置(縦向き)になっていることを確かめてから、ガス元せんを全開にしてください。
- ガス元せんを開く際には、誤って器具が接続されていないガス元せんを開いたり、他の器具のガス元せんを操作したりしないよう、十分注意してください。

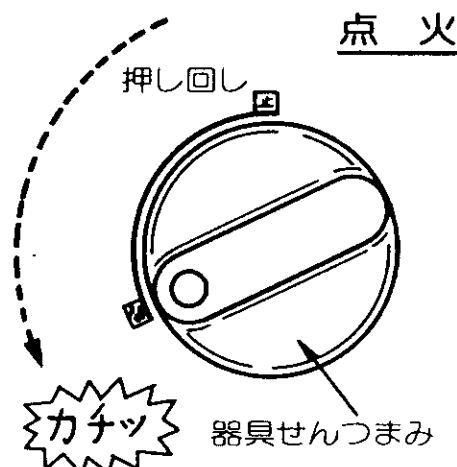
点 火

- ①空気調節つまみを左へ止まるまでまわしてください。
(この操作は器具を初めてご使用になる)ときだけ必要です。

- ②なべ等をのせ、器具せんつまみをイッパイに押し、そのまま左方向にゆっくり「開」の位置まで回すと「カチッ」と音がしてバーナーに着火します。

- ③着火を確かめてから手をはなしてください。

- ④着火しないときは、すぐに器具せんつまみを元へ戻し、点火操作をくり返してください。

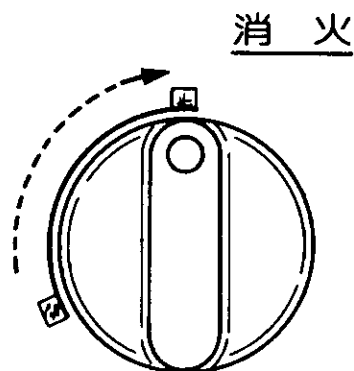


点 火

- 初めて点火するときは、ゴム管内に空気が入っていて着火しにくいことがありますので、空気が抜けて着火するまで(数回)点火操作をくり返してください。
- 使用中は、器具せんつまみを押ししたり、器具せんつまみに寄りかかったりしないでください。(パイロットバーナーに着火して、しる受けが変色することがあります。)
- 点火操作時、火力調節つまみが「●ほたる火」位置にあっても自動的に「中」位置に戻ります。

消 火

器具せんつまみを「止」方向へ止まるまで戻すと、ガスの出が止まって消火します。

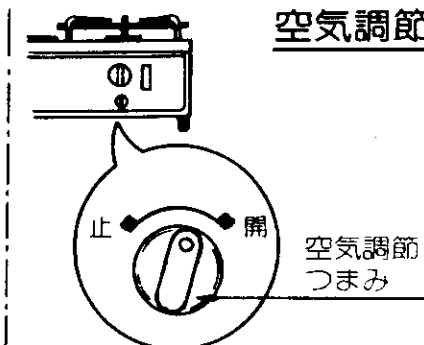
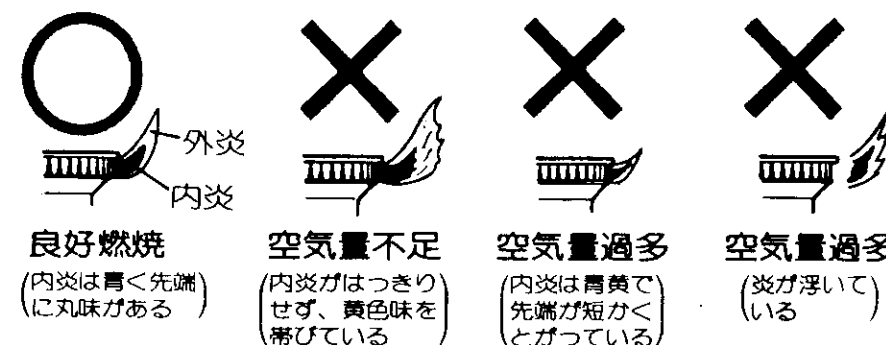


消 火

- 途中で消火しますが、必ず「止」の位置まで(止まるまで)戻してください。
- 消火の際に「ボン」と大きな音がするようでしたら、空気量過多ですから、こんろ空気調節つまみを「止」方向へまわしておいてください。
- 再点火は、消火操作後4～5秒たってから行ってください。すぐに再点火すると、ゴーゴー音がして燃えることがあります。

空気調節

空気調節つまみを右または左にまわし、炎が下図の「良好燃焼」の形になる位置にしてご使用ください。

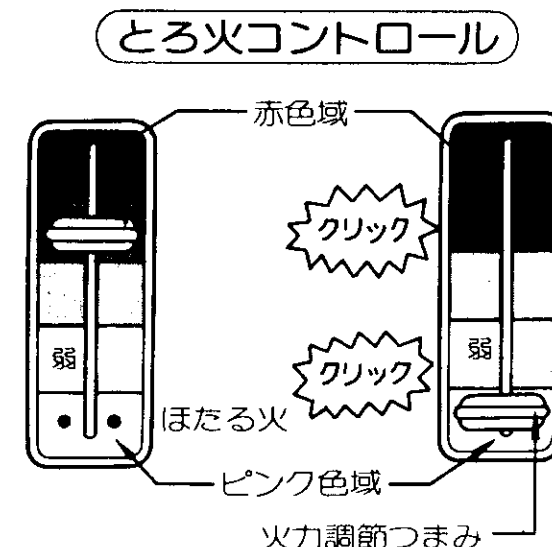


- 空気量は一度調節しておけば、あとであまり調節する必要はありません。

火力調節 火力調節つまみにより容易に火力調節ができます。

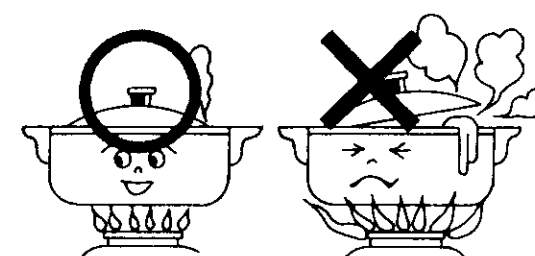
炎を見ながらゆっくりと火力調節つまみを動かして調節してください。

- 下方へ動かしていくにつれて火力は弱くなり、「●ほたる火」位置で最も弱くなります。
- 火力調節つまみを素早く動かすと消火することがあります。
通常の操作でも消火する場合は、空気調節つまみを消火しない位置まで「止」方向に動かしてください。
- 弱火、ほたる火でご使用のときは、風などにより炎が消えやすいので、吹き消えに注意し、必ず燃焼していることを確認してください。



器具の上手な使いかた

- 鍋に合った火力で使いましょう。
炎の先端が鍋底に当たる程度が最適です。それ以上大きくするのはガスのムダになります。
- 一度煮たちましたら、沸騰が続く程度の火力にしぼってお使いください。
煮こぼれの防止と、ムダなくガスをお使いいただけます。
- 鍋をこんろにかける前に鍋底の水気をふきとりましょう。
水分が付着していると、余分な熱が必要になります。
- 空気量は正しく調節し、常に「良好燃焼」の状態を使うようにしてください。



- 日常の点検・手入れは、必ず行ってください。
- 不完全な修理は危険です。万一ぐあいが悪くなって処置に困るような場合は、お問い合わせになった販売店またはガス供給業者にご相談ください。
- 点検・手入れの前には、必ず器具せんとガス元せんとを閉じてから行ってください。

ゴム管およびゴム管の接続部

- ① ゴム管は長い間使用しますと、ひび割れしたり、差し込み口がゆるくなりますので、早目に取り替えてください。
- ② 接続が不完全ですと、ゴム管の抜けやガス漏れの原因となりますので、赤い線までしっかり差し込み、ゴム管止めでとめてください。

器具の各部 (器具は常に清潔にしてご使用ください)

- ① バーナーおよびその周辺のよごれは、不完全燃焼の原因となりますので、よごれている部分は掃除してください。
- ② バーナーボディ、バーナーキャップ、トッププレート、しる受け、ごとくなどが、正しくセットされていることを確かめてください。

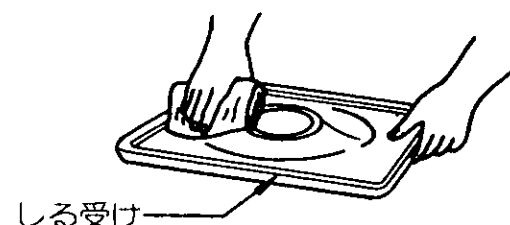
ごとく、しる受け、トッププレートの掃除

- ① ごとく、しる受けは外して掃除してください。

なお、しる受けは、温かいうちにふきとれば、掃除は容易です。

- ② トッププレートは乾いた布でよくふいてください。

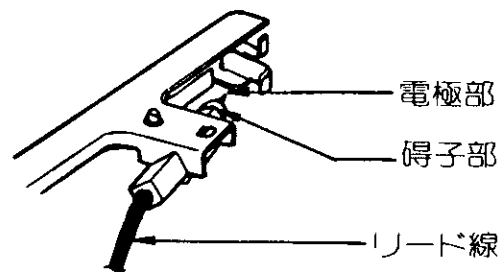
汚れの落ちにくいときは、中性洗剤で手入れした後、水けをきれいにふきとっておいってください。(塩分が付着したり、油が付いたまま放置すると、錆が発生します。)



点火器電極部の掃除

電極部がよごれると点火しにくくなります。しる受けを外した際に点検し、よごれているときは乾いた布などできれいにふきとってください。

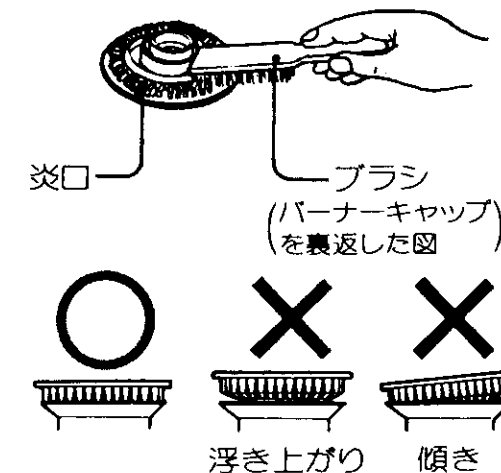
- 電極部に手を触れたまま点火操作をしますと感電することがあります。注意してください。
- 掃除の際、電極に接続されているリード線を引き抜かないよう注意してください。



バーナーの掃除

バーナーに煮こぼれがかかったときは、その都度バーナーキャップを外してブラシやキリなどで掃除してください。

- バーナーキャップの水洗いは避けてください。やむを得ず水洗いをした場合は、完全に乾かしてから取付けてください。
- バーナーキャップは、浮き上がりや傾きのないように、正しく取付けてください。
- 煮こぼれのこびり付きなどでバーナーキャップが外れなくなった場合は、無理に外しても正しくセットできませんので、とりあえずは炎口のつまりを取り除いて使用し、早目に修理(バーナーの交換)を販売店に依頼してください。(バーナーキャップの炎口部の歯が薄くなったり、歯こぼれしたときも、新しい部品と交換してください。)

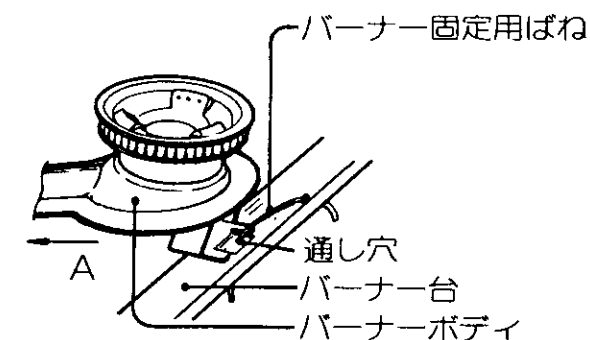


煮こぼれで目づまりしたバーナーをそのまま使用しますと、不完全燃焼や、生ガスが出たり、炎が逆流して器具を焼損する恐れがあります。

バーナーの取外し、取付け要領

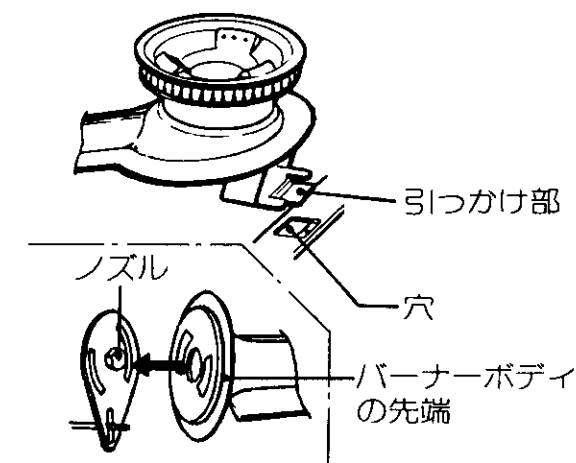
■ 取外しかた

- ① バーナー固定用ばねの先端を、バーナー台の穴から外し、更に通し穴部から、外してください。
- ② バーナー部全体をA矢印の方向に押し、バーナーボディの引っ掛け部が外れてから持ち上げるようにして取外してください。



■ 取付けかた

- ① バーナーボディの先端をノズルにはめ合わせて、バーナーボディの引っ掛け部を穴に入れて引っ掛け、元の位置にセットする。
- ② バーナー固定用ばねの一端を通し穴に差し込み、他端をバーナー台の穴に差し込む。



故障・異常の見分け方と処置方法

くあいの悪いときは、下表を参考にして処置してください。

不完全な処置は事故のもとになりますので、おわかりにならないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

原因	現象										処置方法	参照ページ
	点火しない	バーナーに火移りしない	黄炎で燃える	炎が安定しない	炎が不揃い	異常な音がして燃える	火力が弱い	ガスのおいがする	消火時大きな音がする	消火しない		
ガス元せんの開け忘れか開きが不十分	●	●					●				器具せんを一度閉じてからガス元せんを全開にする	—
ゴム管内に空気が残っている	●	●	●								ガスが正常に出るまで、十分注意しながら使用する	7
ガスが少なくなっている(LPガス)	●	●					●				新しいボンベに替える	—
器具の銘板に表示のガスと使用ガスが不一致	●	●	●	●	●	●	●	●	●		販売店に連絡する	2
ガス圧が適切でない	●	●	●	●		●	●				他の器具も同様の場合は、点検を依頼する	—
点火操作が適切でない	●										正しい点火操作をする	7
点火器電極部のよごれ	●										よごれをふきとる	9
バーナーの炎口づまり		●	●	●	●						つまりを取り除く	10
バーナーキャップの取付けが不完全		●	●	●	●				●		バーナーボディに正しく取付ける	10
バーナーボディの取付けが不完全		●	●	●	●				●		正しく取付ける	10
空気調節が適切でない		●	●	●	●				●		正しく調節する	8
ゴム管の折れ曲り、つぶれ	●	●					●				折れ、曲りをなおす	6
ゴム管のひび割れ、穴あき							●				新しいゴム管と交換する	6
ゴム管の接続が不完全							●				確実に接続する	6
器具せんの故障	●	●							●		販売店に点検・修理を依頼する	—
ノズルの詰まり	●	●	●				●				販売店に点検・修理を依頼する	—

長期間使用しない場合

- ゴム管を取りはずし、元せん側、器具側ともゴム管口にごみやほこりなどが入らないよう、キャップなどをしておいてください。
- 器具は汚れをきれいに除去し、ほこりやごみなどが入らないよう、ビニルをかけて、お買い求めになったときの箱などに入れ、湿気の少ないところで保管してください。

仕様

品名		二口こんろ（日立ガステーブル・プリン形）			
形式の呼び		GHS-28W			
種類		ガス二口こんろ			
点火方式		圧電点火			
外形寸法		高さ 205mm×幅 560mm×奥行 410mm			
重量		5.0kg			
使用ガス 使用ガスグループ		1 時間 当りのガス消費量			ガス接続
		全ガス消費量	左こんろ	右こんろ	
都市ガス用	4A	4,350kcal/h	2,300kcal/h	2,300kcal/h	呼び寸法 9.5mm 都市ガス用 ゴム管
	4B	4,600kcal/h	2,450kcal/h	2,450kcal/h	
	4C	4,800kcal/h	2,550kcal/h	2,550kcal/h	
	5A	4,400kcal/h	2,300kcal/h	2,300kcal/h	
	5AN	4,050kcal/h	2,100kcal/h	2,100kcal/h	
	5B	4,700kcal/h	2,450kcal/h	2,450kcal/h	
	5C	5,200kcal/h	2,700kcal/h	2,700kcal/h	
	6A	4,650kcal/h	2,400kcal/h	2,400kcal/h	
	5C	4,900kcal/h	2,570kcal/h	2,570kcal/h	
	6C	5,450kcal/h	2,850kcal/h	2,850kcal/h	
	6B	5,500kcal/h	2,850kcal/h	2,850kcal/h	
	7C	5,670kcal/h	2,950kcal/h	2,950kcal/h	
	11A	4,750kcal/h	2,400kcal/h	2,400kcal/h	
	12A	5,500kcal/h	2,800kcal/h	2,800kcal/h	
	13A	5,900kcal/h	3,010kcal/h	3,010kcal/h	
LPガス用		0.502kg/h	0.251kg/h	0.251kg/h	呼び寸法 9.5mm LPガス用ゴム管

アフターサービス

- サービスを依頼される前に11ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」項を見て、もう一度確認してください。
確認のうえそれでも不具合な場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご依頼ください。
- アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。
(1)品 名……日立ガステーブル (3)現 象……できるだけ詳しく
(2)形式の呼び……GHS-28W (4)道 順……付近の目印も

転居される場合

- ご転居によりお買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は前もって販売店にご相談ください。
ご転居先での日立家電品の取扱店を紹介させていただきます。
なお、この製品はガス種が変る場合は、改造や調整が必要となりますので、転居先の販売店にご相談、ご用命ください。(改造や調整は有料です。)

保 証

- この商品は保証書付きです。
保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間はご購入の日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の最低保有期間について

- ガステーブルの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店か別紙(黄色用紙「日立家電品ご相談窓口一覧表」)のご相談窓口にお問い合わせください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるときお役に立ちます。

ご購入年月日	昭和 年 月 日
購 入 店 名	電話 (-)

日立家電販賣株式會社

日立熱器具株式會社

〒105 東京都港区西新橋2-15-12

電話 (03)502-2111